

※公式ホームページでは施設情報のほかイベントやブログを発信しているほか、旭山動物園だより・あさひやまどうぶつえんみにだよりなど各種発行物を pdf でダウンロードすることができます。



【2024年度・冬期開園期間】4/7(月)まで。【開園時間】午前10:30～午後3:30(最終入園は午後3:00まで)
※4/8(火)～25(金)は夏期開園の準備のため休園となります。
【2025年度・夏期開園】4/26(土)～11/3(火・祝) 【開園時間】午前9:30～午後5:15(最終入園は午後4:00まで)



旭山動物園だより

発行所
旭川市旭山動物園
動物図書館
☎0166-36-1104

野鳥観察をするなら 季節の変わり目がいい。

一年中観察できる「留鳥」プラス、これから北の地域に戻る「冬鳥」と南の地域からやってくる「夏鳥」が観察できる今。園内各所でいろんな野鳥を観察することができますよ！

一年中観察できる「留鳥」
大きな声で鳴くヒヨドリ、シジュウカラやアカゲラは園内でよく観察できる野鳥です。

カラ類など／森林に生息し、昆虫やクモを食べるカラ類。ヒガラは体長11 cm、シジュウカラは14.5 cmほど。カラ類と一緒にいることが多いシマエナガは13.5 cm。



キツツキの仲間など／木の幹に縦にとまることができる種。キツツキの仲間ではないが、ゴジュウカラも縦に幹にとまることができます。木をつつく音に耳をすませて。



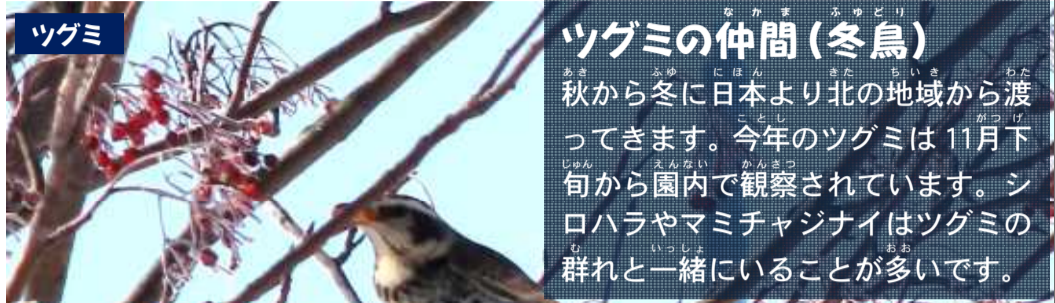
第25回動物読書感想文コンクールの表彰式をおこないました。

昨年の12月から作品の募集をしていた動物読書感想文コンクールの表彰式を3/20におこないました。旭川市内のほか、東京からも表彰式に足を運んでいただきました。動物図書館には、これまでの作品集がそろっています。



受賞者の皆さんには賞状と記念品を授与しました。

受賞作品をまとめた「入選作品集」は、受賞した皆さんにお渡しするほか、旭川市内の小学校、図書館、公民館に配布しています。

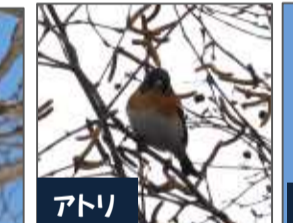
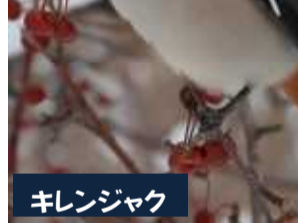


ツグミの仲間(冬鳥)
秋から冬に日本より北の地域から渡ってきます。今年のツグミは11月下旬から園内で観察されています。シロハラやマミチャジナイはツグミの群れと一緒にいることが多いです。

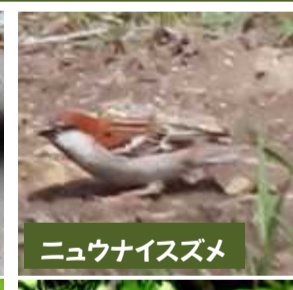
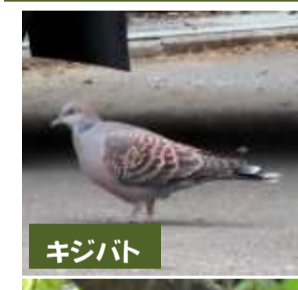


※トラツグミとアカハラは北海道では夏鳥として春に南の地域から飛来。今年は北へ戻るツグミたちと一緒に飛来したようです。マミチャジナイは日本より北の地域で繁殖し、日本より南で越冬する旅鳥(園内では2020年12月と2025年3月に観察)。

まだいる冬鳥 ツグミたちと同じく木の実を食べる旭川市の鳥キレンジャクや、樹木の種子を食べるマヒワやアトリもこの時期に多く観察できる野鳥です。園内上空を飛ぶハクチョウもシベリアに戻る途中、旭川に立ち寄ります。



そろそろ飛来し始める夏鳥 雪がなくなり、新芽や葉、土や草、昆虫が出てくるころには北海道で繁殖する夏鳥が南の地域から飛来します。



「トデデ・ポーポポ」と鳴くキジバト、「春ってウキウキするねは人間だけかもしれない。」皆さんはどんなことで春を感じますか？ フキノトウの芽やネコヤナギの花穂ですか？ タテハチヨウの仲間など、昆虫の出現ですか？ ハクチョウやマガンなど北へ戻る冬鳥の群れですか？ 土や路面が出てくることも春を感じます。園内では、上で特集したように、これから北へ戻る冬鳥のツグミやシロハラと一緒に、南の方からやってくる夏鳥のトラツグミとアカハラが同時に観察されました。野生の生きものにとっては3月や春ではなく、移動・繁殖・巣作りなど動き出すことがヒトで言う春。時期を間違えると命に関わる動き出し。一番エネルギーが必要で大切な時期かもしれませんね。